様式３(2020.08改)

作成日　令和3年11月3日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000508
事業所名	グループホーム荒子の郷

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入しており、事業所の行事には町内の子ども会から大勢の子どもたちが集まるのが恒例でしたが、昨年度に続き本年度もコロナ禍の影響で夏祭りが中止となったため、子ども会には例年通りお菓子を届け、お返しにプレゼントされた手作りうちわは利用者が居室でも使っています。また以前、認知共用型指定通所介護の利用家族だった人は、玄関先の花壇を定期的に手入れくださり、変わらぬ関係が在ります。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍を鑑み、法人会長(令和3年9月より法人理事長)、職員、調剤薬局の少人数で運営推進会議の隔月開催を続けています。参加ができていない他のメンバーには議事録を送っていますが、新型コロナ感染症終息後は全員での開催としていく予定です。また令和3年9月開催からは、地域包括支援センターより意見・感想を書面でもらえるよう、返信シートを届けています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	NAGOYAかいごネット(介護・障害情報提供システム)を通じて各種行政情報をいち早く入手できています。名古屋市からのマスクも行き渡り、現在は状況に応じてPCRの検査キッドを職員におこなってもらうようにしています。またショートステイを経て生活保護受給者となった利用者の手続きは、事業所管理者が福祉部民生子ども課をはじめとする関係部署と連携しておこない、無事完遂しています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	緊急事態宣言発令中は面会は取りやめています。現在は「予約制、週1回」「マスク装着」「手洗い、うがい」「検温」「アルコール消毒」といった条件を敷いて、居室での面会が叶っていて、家族も利用者本人も歓んでおり、職員も嬉しい気持ちでいっぱいです。外出がままならない分、散歩回数の差が生れないよう確認表を用意したり、回転寿司や和菓子のテイクアウトで「美味しいものを堪能する」ことにも努めています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									